

旧海軍司令部壕



壕内入口（旧海軍司令部壕事業所提供）

旧海軍壕司令部

旧海軍小祿飛行場（現在の那覇空港）を守るため、昭和 19 年（1944 年）日本海軍設営隊（山根部隊）によって掘られた司令部壕で、当時は全長 450m あったと言われている。カマボコ型に掘り抜いた横穴をコンクリートと杭木で固め、米軍の艦砲射撃に耐え、持久戦を続けるための地下陣地で、4000 人の兵士が収容されていた。戦後しばらく放置されていたが、数回に渡る遺骨収集の後、昭和 45 年（1970 年）3 月、観光開発事業団によって司令官室を中心に 300m が復元された。



壕内見取図（旧海軍司令部壕事業所提供）



旧海軍司令部壕資料館・ビジターセンター
※旧海軍司令部壕事業所提供

資料室内には、銃器や軍服など壕内より発掘された遺品や家族へ宛てた手紙など、旧日本海軍についての資料を展示している。